

①食の安全・安心について

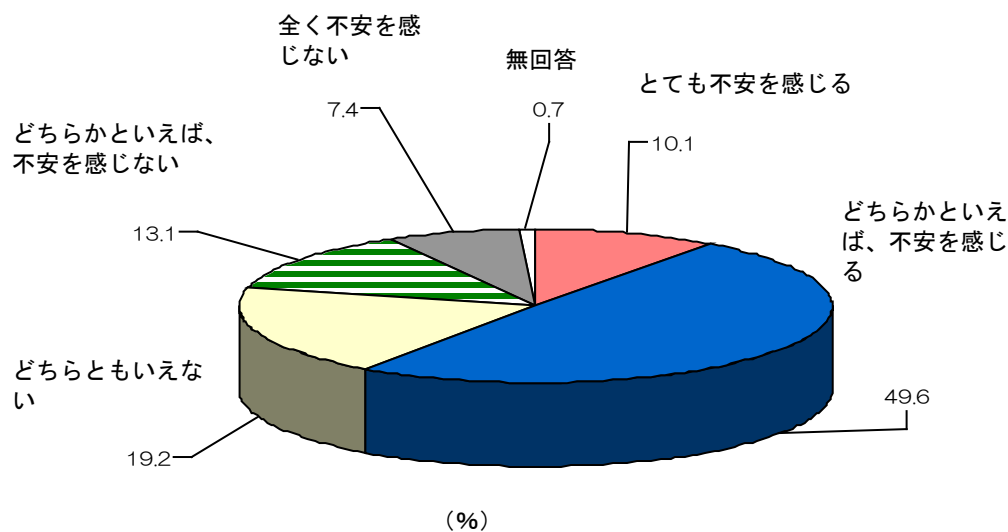
近年、福島第一原子力発電所の事故に起因する食品の放射性物質汚染問題や、食肉の生食による腸管出血性大腸菌食中毒の広域発生など、食の安全・安心を揺るがす問題が相次いで発生しています。こうした状況の中で市民のみなさまの食の安全・安心を確保するためには、消費者、事業者、市といった、食に携わるすべての人による、それぞれの立場からのリスクコミュニケーション（情報や意見を交換し、相互に理解し、協力すること）が重要となります。

このアンケートでは市民のみなさまに食の安全・安心についての考え方などをおたずねし、今後の施策の検討に役立ててまいります。

※各図表の「N」は、回答者総数を表しています。

問1 あなたは日常生活で「食の安全」について、不安を感じることがありますか。
(〇は1つだけ)

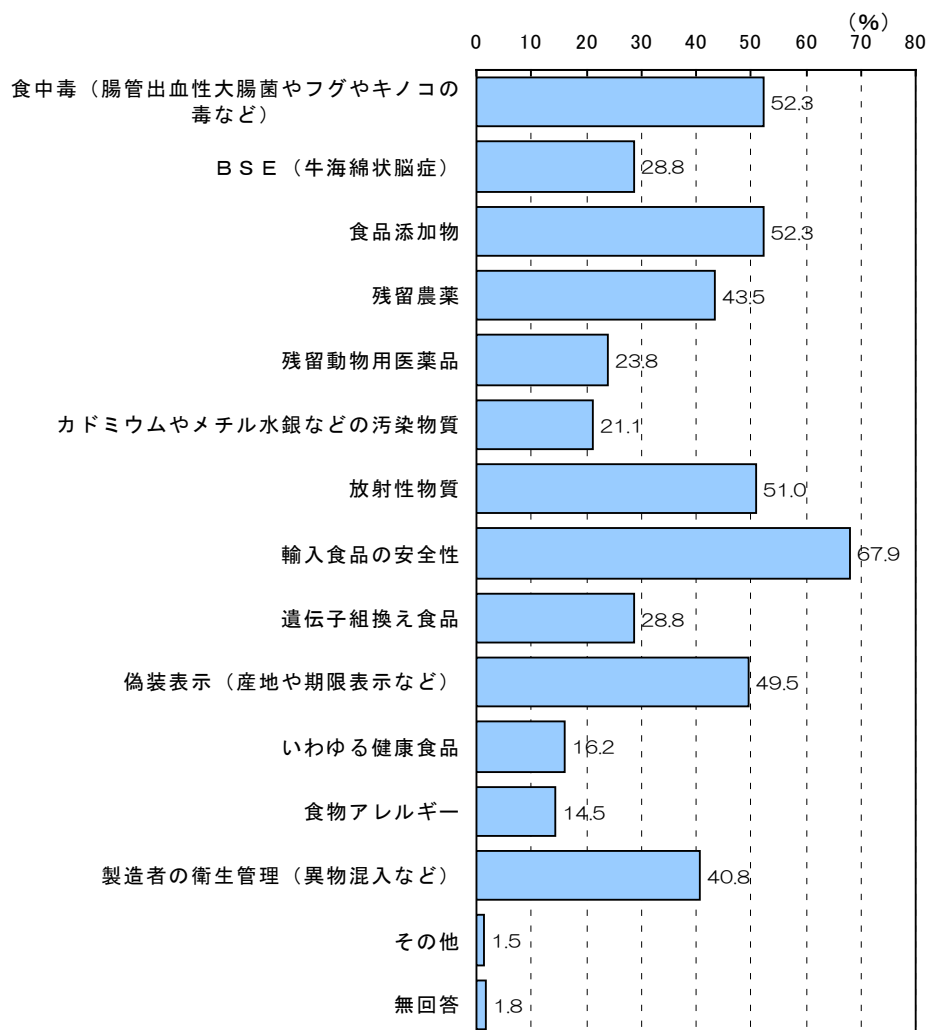
N=1,070



《問1で1～4と答えた方におたずねします。》

問2 あなたが「食の安全」について不安を感じる要因は何ですか。（〇はいくつでも）

N=984



《すべての方におたずねします。》

＜生食用食肉について＞

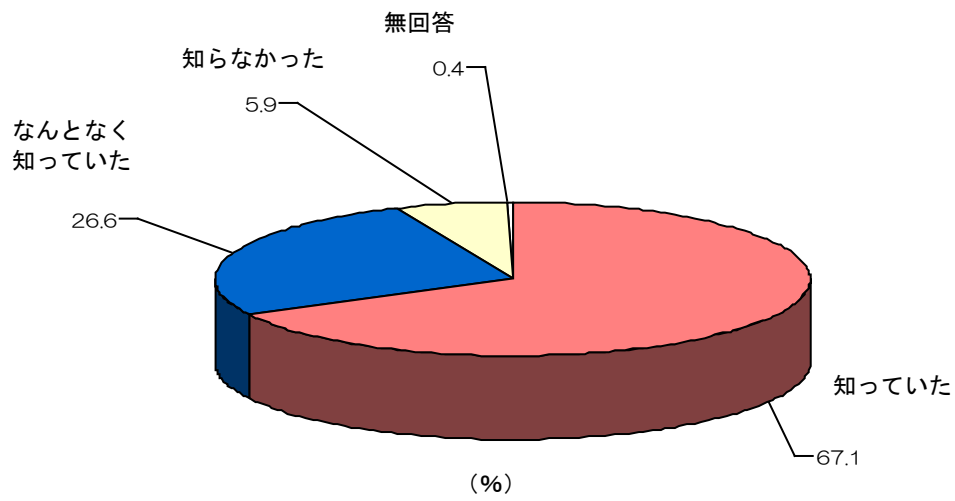
食肉にはもともと腸管出血性大腸菌やカンピロバクターなどの食中毒菌が存在する可能性があり、たとえ鮮度が良くても食肉を生もしくは加熱不十分で食べると、食中毒になる危険があります。

平成23年4月、焼肉チェーン店で発生した腸管出血性大腸菌による食中毒で、肉を生で食べた方数名が亡くなられ、重症者も多数報告されました。これを受け、厚生労働省は平成23年10月に牛肉の生食用食肉について食品衛生法に基づく規格基準を定め、牛肉の生食料理（牛肉刺身、ユッケ、タタキ等）については、この基準に合うものでなければ提供することができなくなりました。また平成24年7月1日には牛レバー（牛肝臓）を生食用として提供することについても禁止されました。

※ このアンケートでの「食肉の生食」とはユッケ、たたき、レバー刺身、ささみ霜降り等の食肉を生または生に近い状態で食べることを指します。

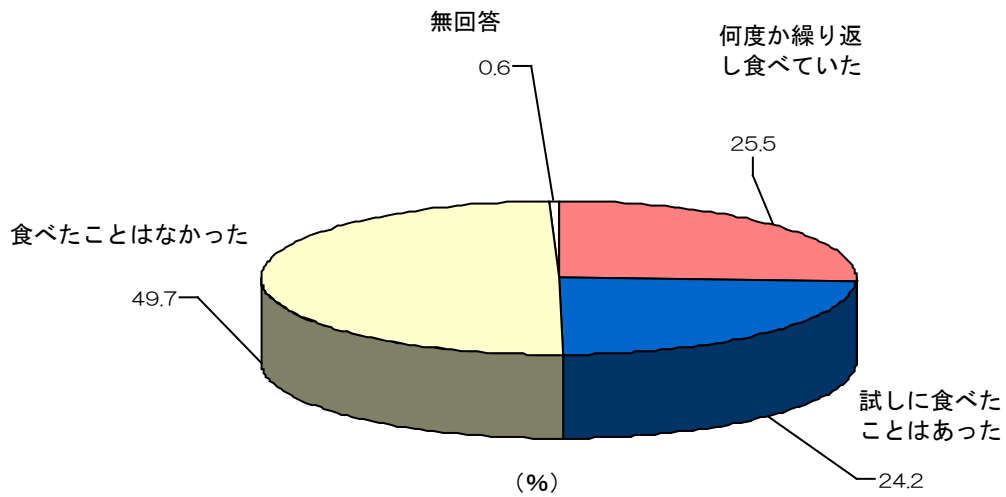
問3 あなたは、「食肉の生食」は食中毒が起こる危険性があることを知っていましたか。
(○は1つだけ)

N=1,070



問4 あなたは、平成23年4月の食中毒事件以前に、どの程度「食肉の生食」をしていましたか。(○は1つだけ)

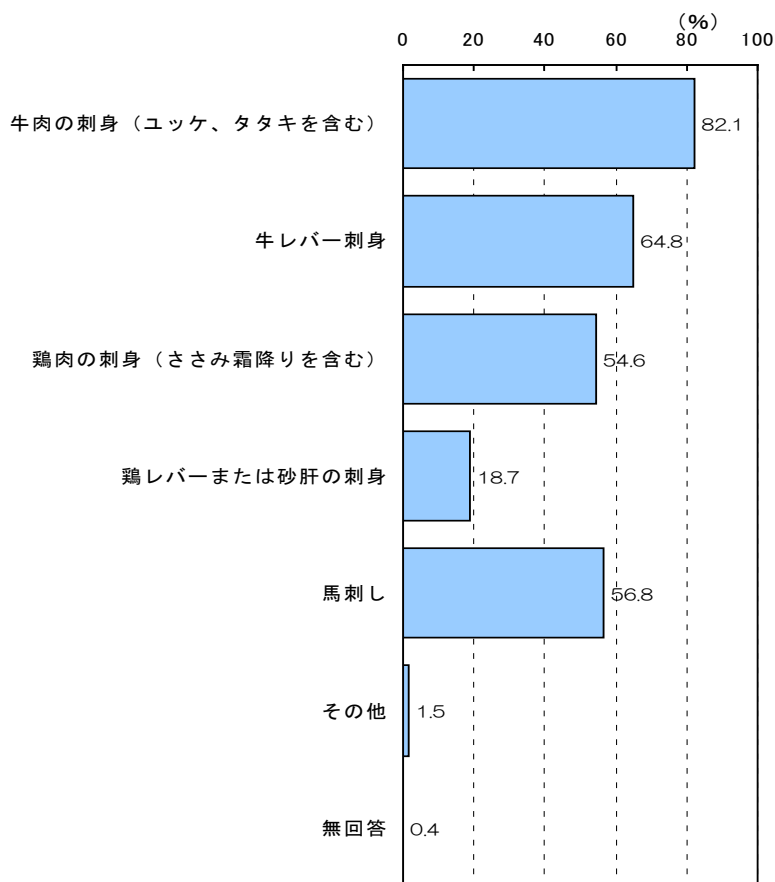
N=1,070



《問4で1と答えた方（何度か繰り返し食べていた方）におたずねします。》

問5 あなたがよく食べていた、食肉の生食料理は何ですか。（○はいくつでも）

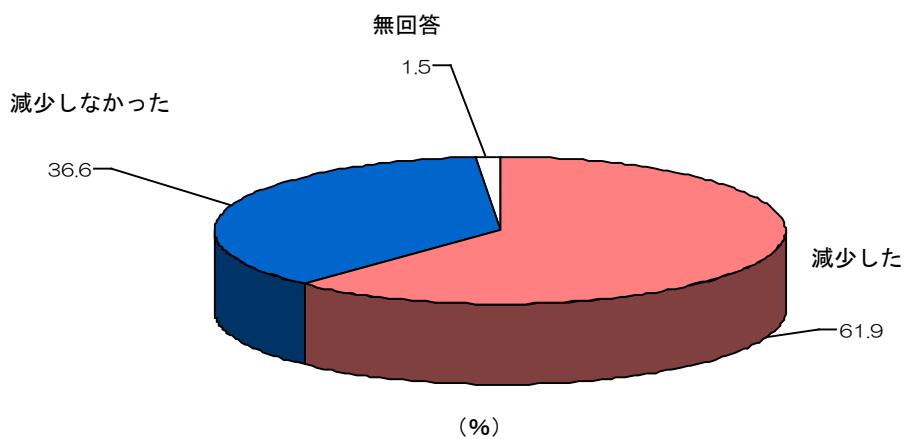
N=273



問6 あなたは、平成23年4月の食中毒事件以降、食中毒が心配で「食肉の生食」の回数が減少しましたか。（○は1つだけ）

N=273

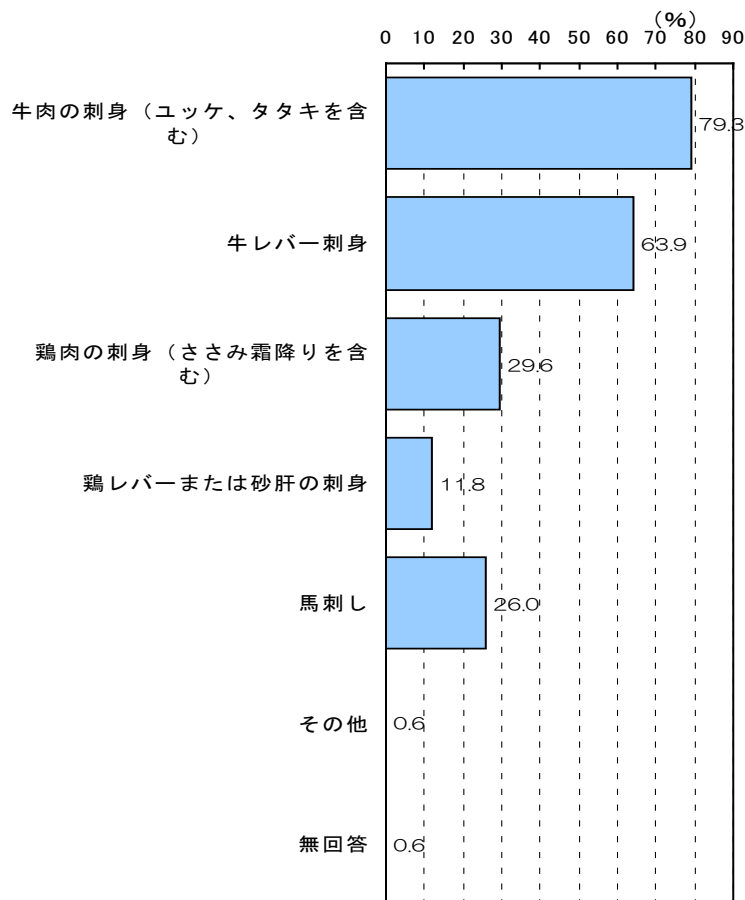
※ 牛レバー刺身については、平成24年7月までの牛レバー刺身の提供禁止以前のことについてお答えください。



《問6で1と答えた方（食肉の生食の回数が減少した方）におたずねします。》

問7 食中毒が心配で回数が減少した、食肉の生食料理は何ですか。（○はいくつでも）

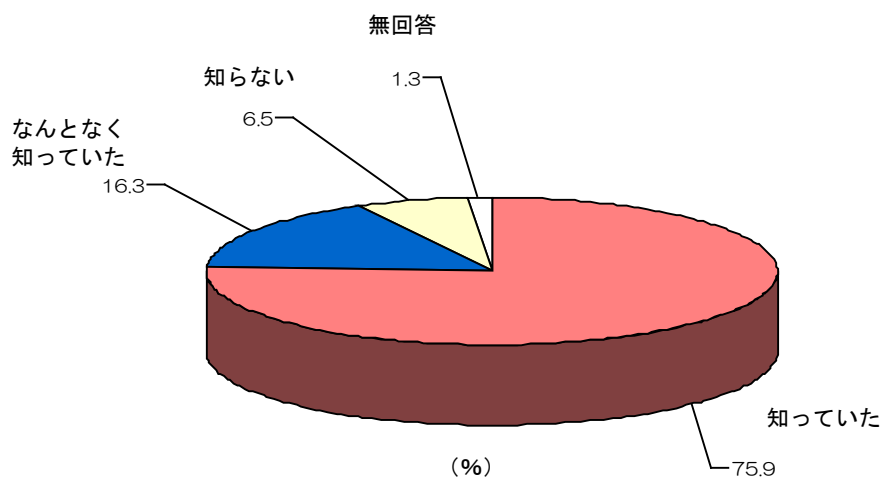
N = 169



《すべての方におたずねします。》

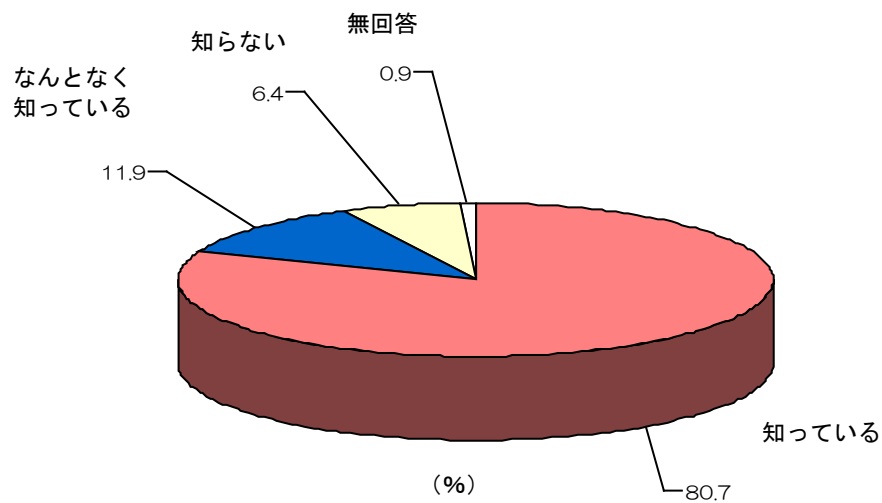
問8 あなたは、牛肉の生食料理（ユッケ、タタキなど）について、平成23年10月より法律で規制され、基準に合わないものについては提供できなくなったことを知っていましたか。（○は1つだけ）

N = 1,070



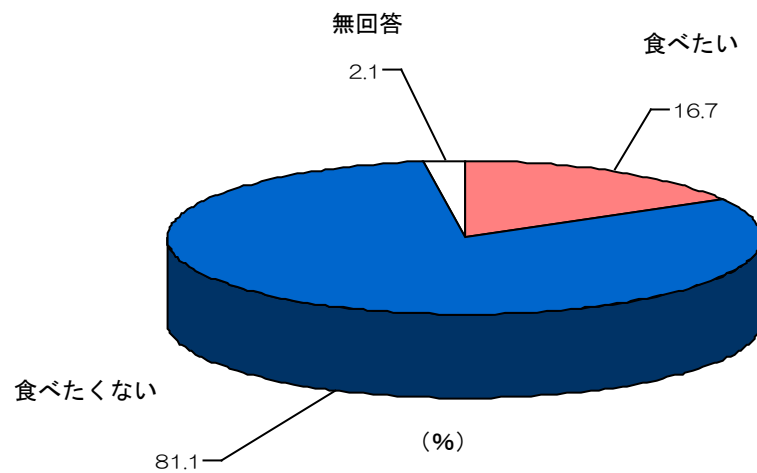
問9 あなたは牛レバー（牛肝臓）の刺身の提供が平成24年7月1日から法律により禁止されたことを知っていましたか。（○は1つだけ）

N=1,070



問10 あなたは、食中毒の危険があっても食肉の生食料理を食べたいですか。（○は1つだけ）

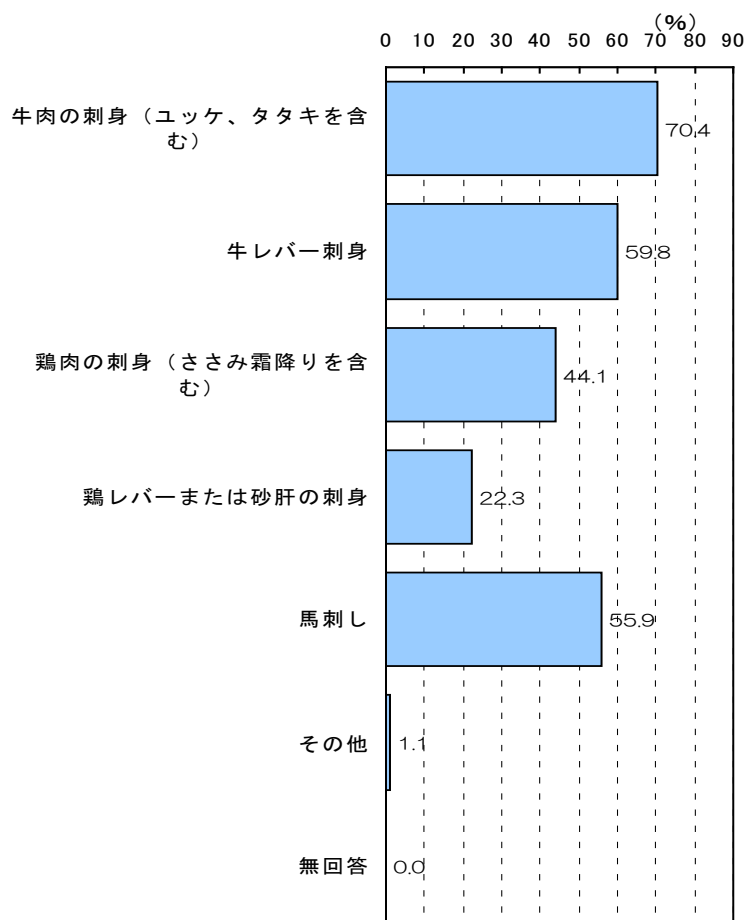
N=1,070



《問10で1と答えた方（食肉の生食料理を食べたい方）におたずねします。》

問 11 あなたの食べたい食肉の生食料理は何ですか。（○はいくつでも）

N = 179



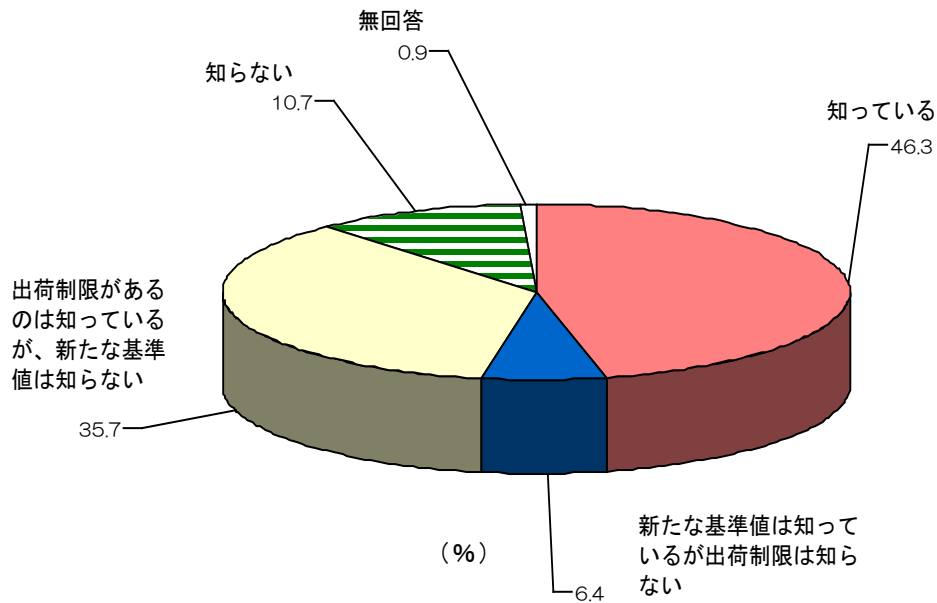
《すべての方におたずねします。》

＜食品中の放射性物質について＞

福島第一原子力発電所の事故による食品の放射性物質汚染が問題となり、厚生労働省は食品中の放射性物質の「暫定規制値」を定め、「暫定規制値」を超える食品が市場に流通しないよう出荷制限などの措置が取られてきました。暫定規制値を下回っている食品は、健康への影響はないと一般的に評価され、安全性は確保されていますが、より一層、食の安全と安心を確保するためと長期的な観点から、食品中の放射性物質についてより厳しい、新たな「基準値」が平成 24 年 4 月 1 日に設定されました。

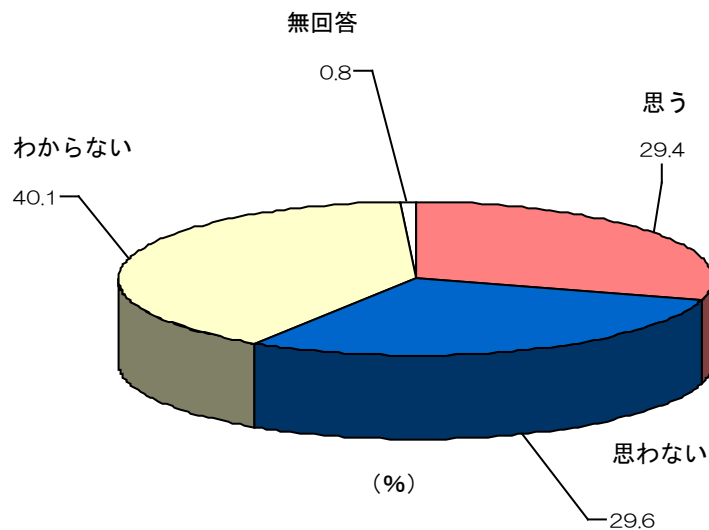
問 12 あなたは食品中の放射性物質について、平成 24 年 4 月 1 日から暫定規制値に替わって、より厳しい、新たな「基準値」が設定され、基準値を超える放射性物質を含む食品は出荷制限が行われていることを知っていますか。（○は1つだけ）

N = 1,070



問 13 あなたは放射性物質について、新たな「基準値」を下回り、市販されている食品は安全であると思いますか。（○は1つだけ）

N = 1,070



問 14 「食の安全」について不安を感じていることやお気づきのことがあれば、ご自由にお書きください。

- 情報を提供して欲しい。リスクは価格と相談して個人責任で食品を選ぶので、正しい情報が必要です。
- 日本でこれだけ注意しても、外国から輸入されている商品はどこまで安全性があるかは気になる。
- 基準値を厳しくすることは、食の安全と安心につながる面と、生産者が理不尽に苦しい立場の立たされる面があり、バランスが大切。
- どんな検査をしても偽装表示されたら本当のことが判らないので不安は残る。
- 基準値が本当に正しい値なのか、信頼できるものなのか、不安がある。将来の子供達のことを考えて欲しい。
- 基準・規制は必要だと思うので、それが守られているかどうかを、分かりやすく情報提供して欲しい。

ほか